

ハザードマップ凡例について

●洪水浸水想定区域とは

洪水により相当な被害が生ずる恐れがある「水位周知河川」等において、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、洪水が発生した場合に浸水が想定される区域を指定したもので、併せて水深等を公表するものです。

これは水防法第14条に基づき作成されたものになります。

※降雨条件は、各河川流域の前提となる最大規模の降雨量を想定した結果にもとづいており、想定を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していません。

洪水ハザードマップ 凡例

浸水した場合に想定される水深	家屋倒壊等氾濫想定区域
～20.0m未満	河岸侵食
～10.0m未満	氾濫流
～5.0m未満	
…～3.0m未満	
…～0.5m未満	
…浸水実績	

洪水浸水想定区域図の内容

洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水継続時間を表示した図面です。

洪水浸水想定区域図

【家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)】

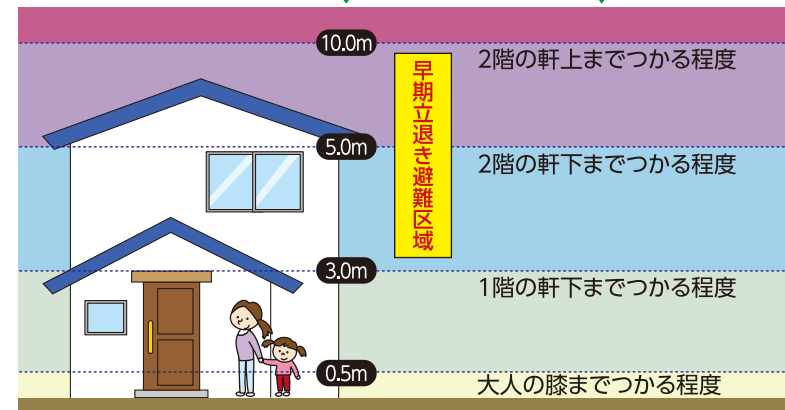
家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、河岸の侵食幅を予測したものを表示した図面です。

洪水浸水想定区域図

【家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)】

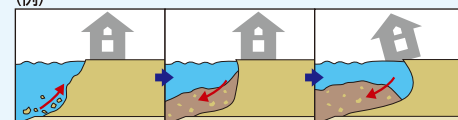
家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、氾濫流による家屋倒壊・流出等の危険性を表示した図面です。

浸水深の目安



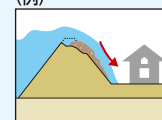
河岸侵食(かがんしんしょく)

激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られること(例)



氾濫流(はんらんりゅう)

堤防の決壊に伴う激しい流れのこと(例)



早期立退き避難区域について

家屋倒壊等氾濫想定区域と家屋が水没する恐れがある区域(浸水深3m以上)は早期の立退き避難が必要な区域です。**この区域にお住いの方は、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難指示を待たずに自主的に避難することをご検討ください。**

土砂災害ハザードマップ 凡例

土砂災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
------	------------	----------

●土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害防止法に基づき指定された、土砂災害のおそれのある区域です。この区域内に対して、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等が求められます。**土砂災害(特別)警戒区域は、土砂災害警戒情報が発表された場合、原則立ち退き避難が必要です。**

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

上記の区域に指定されていない場所であっても、洪水、内水、土砂災害の被害が発生する場合や、想定される被害の程度が実際の被害の程度と異なる場合があります。

木津川市 ハザードマップ

全体区割図

全体

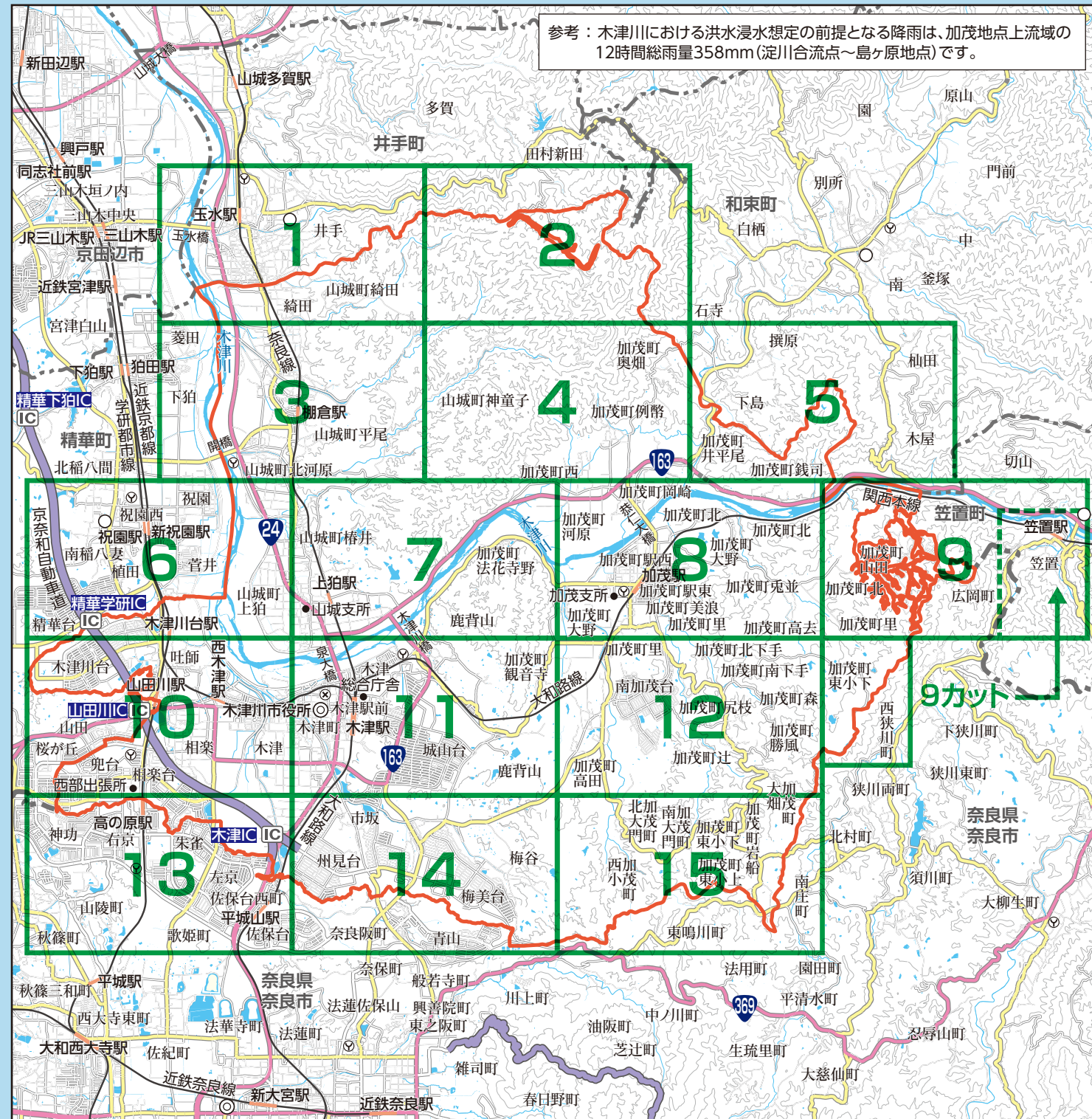
0 1 2km
1/80,000



木津川市ハザードマップの見方

詳細図で掲載している内容は、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸侵食)が、記載されています。

左ページの凡例を確認し「自宅の災害リスク」「自分のいる場所は、安全か」「避難場所など安全な場所」「安全な道路」等、ご家族で避難について考えることに活用しましょう。



(禁無断複製) © 2025 ZENRIN CO., LTD.